

第 3 0 回通常総会

と き： 令 和 2 年 7 月 2 8 日

と ころ： 一般社団法人福岡県木材組合連合会

一般社団法人福岡県木材組合連合会

第 3 0 回 通 常 総 会 議 事

第 1 号 議 案 令和元年度事業報告・財産目録・貸借対照表・
及び収支決算書承認について

第 2 号 議 案 令和 2 年度事業計画及び収支予算案承認について

第 3 号 議 案 令和 2 年度会費及び徴収方法決定について

第 4 号 議 案 役員報酬について

第 5 号 議 案 役員補選について

第1号議案

令和元年度 事業報告

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

近年、自然災害が頻発する中、昨年度も相次いで台風が襲来し、全国的に暴風、大雨の被害が発生しました。さらに、年が明けてからは、中国に端を発した新型コロナウイルスの感染が瞬く間に世界中に拡散し、我が国においても危機的状況に追い込まれております。

一日も早く被災地が復興し、また、感染症が終息することを願います。

さて、我が国の経済は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続いておりましたが、地域経済の担い手である中小企業の経営は、個人消費及び民間設備投資の地域差や人手不足などにより多くの課題に直面していました。

さらに、これに加えて新型コロナウイルスの感染拡大により、全世界にわたって経済活動が低迷し、我が国においても、国民生活に様々な活動の自粛が要請され、戦後最大の不況に陥るともいわれています。

木材業界にとりましても、住宅需要の減退、住宅資材流通の停滞などが心配され、特に2020年オリンピック・パラリンピック東京大会は内外に木の文化・木材の良さを主張できる絶好の機会でありましたが、1年延期されることが決定されその影響も懸念されるところです。

また、令和元年の新設住宅着工の実績としては、全体では対前年比微減の90万5千戸、そのうち木造住宅は52万3千戸で、木造率は58%とここ10年間以上50%台が続いております。。

こうした中、令和元年度においては、地域での木材産業、工務店、設計関係団体等、木材の供給側、需要側が連携して取組む木材利用拡大強化のための予算措置が講じられ、非住宅建築物への木材利用拡大に重要な要素となる JAS 構造材の利用促進や木塀など外構部の木質化促進のための事業が実施されました。

税制面では、平成30年度の税制改正で「森林環境税」、「森林環境譲与税」が創設され、令和元年度からその配分が始まり、林業の成長産業化の実現と森林資源の適正な管理の両立を図ることとされております。

当連合会としましては、今後とも会員の皆様、さらには関係機関との連携を一層密にして、本県木材産業の振興・発展に努めて参る所存ですので、引き続き格別のご支援をお願い致します。

さて、令和元年度の当連合会の活動は、上記に示すような厳しい事業環境ではありましたが、概ね計画どおりに事業を実施することができました。

これも、ひとえに会員各位をはじめ、関係機関、関係団体の皆様の絶大なるご支援ご協力の賜物と深く感謝を申し上げまして、以下のとおり事業報告を行います。

(1) 消費者等に対する木材利用の普及推進

当連合会内に「木材利用相談センター」を設置して、一般県民の方からの木材に関する様々な相談に対応した。

また、当連合会のホームページでも、木材に関する情報を提供し、多くのアクセスがあった。

(2) 「木づかい運動」への参画

国産材の利用拡大に向けて林野庁が全国的に展開する「木づかい運動」の一環として、「ウッドフェスタ2019福岡」を、久留米市鳥類センターで開催し、約千人の来場者で賑わい、「木」とのふれあいを体験していただいた。

また、県木青連が主催している「児童生徒木工工作コンクール」では、県内166校から2千3百点を超える出品があり、その入賞作品を同会場内に展示して多くの来場者の目を楽しませた。

(3) 木材の利用促進

これまで木材利用が低位であった非住宅分野を中心とする建築物において、JASの格付け実績の低い構造材（無垢材、CLT）を積極的に利用するため、林野庁の補助事業であるJAS構造材利用拡大事業を活用しJASの普及・実証事業を実施した。

その中で、福岡県木造・木質化建築賞を受賞したモデル的な建築物を紹介し、「建築物の木造・木質化から見える未来」と題して「第8回ふくおか木材フォーラム」をはじめ、木材の利活用推進に関する各種セミナー、見学会を開催した。

(4) JAS制度の普及推進と適正な運用

製材JAS工場の認定取得を促進するため、県内の製材工場等を対象に、製材JAS制度に関する説明会やPRに務めた結果、JAS法に基づく認定工場は、令和元年度には、9

工場となった。

また、制度の適正な運用を図るため、監査の実施や製品の格付け検査を行った。

(5) 合法木材の普及推進

合法性等が証明された木材等の利用促進を適正に行うため、関係事業者への「合法木材ハンドブック」の配布や、説明指導を行った。

また、「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」（クリーンウッド法）に関する研修会を開催するなど普及促進を行った。

(6) 労働安全衛生対策の推進

各地で安全パトロールや林業・木材製造業者を対象とした、リスクアセスメント等の指導会を行った。

特に、平成30年度からスタートした「第13次労働災害防止計画」では林業が重点業種に指定された事を受け、福岡労働局、福岡森林管理署、福岡県等で構成する「特別活動連絡調整会議」及び「同会議事務局による伐木造材時における労働災害防止のための集団指導会」を開催した。

(7) 教育・情報提供事業

木材利用の推進に係る国や県の取り組み状況等のほか、林業・木材産業改善資金制度、木材産業等高度化推進資金制度、違法伐採対策、合法木材の普及等について、各組合に随時情報提供を行った。

(8) 要望活動等

林業・木材産業の活性化や、地域材の利用促進を図るため、県を始め関係機関に対し、要請活動を行った。

また、木材利用や木材産業に係る国の施策、木材関連予算の確保等については、全木連並びに全木協連と協調して要望活動を行った。

事 業 概 要

期 日	会議・行事等	出席者	場 所
平成31年			
4月11日	JAS構造材利用拡大事業説明会	会長外	福岡市
18日	JAS監査（八女森林組合）	専 務	八女市
20日	九木青総会	専 務	柳川市
23日	福岡県中小企業団体中央会理事会	—	福岡市
24日	県木連等監査	専務外	天神チクモクビル
25日	木材加工理事会	専 務	福岡市
25日	農林水産まつり委員会	職 員	福岡市
25日	緑の雇用事業説明会	職 員	天神チクモクビル
5月11日	県木青総会	会 長	八女市
14日 ～15日	全木連理事会 総会	〃	メルパルク東京
16日	組合長会議、林災・木政委員会	会長外	天神チクモクビル
23日	JAS監査（マルジョウ）	職 員	うきは市
28日	県木連等総会	会長外	天神チクモクビル
6月4日	ウッドフェスタ打合せ	専務外	福岡市
5日	九経連林業部会	専 務	福岡市
5日	中小企業団体中央会総会	職 員	福岡市
6日	JAS格付け検査（堤木材）	専務外	うきは市
10日	JAS監査（福岡県広域森林組合）	専務外	福岡市
12日	JAS格付け検査（東部産業）	専務外	うきは市
15日	福岡県植樹祭	専 務	みやこ町
17日	県産材利用促進協議会	専 務	福岡市
18日	縣市連総会	会 長	福岡市
20日	九木連事務局長会議	専 務	天神チクモクビル
28日	九木連総会	会長外	熊本市
7月4日	JAS構造材利用拡大事業等説明会	職 員	福岡市
4日 ～5日	JAS審査員等資格者養成研修会	専 務	東京都
11日	JAS格付け検査（堤木材）	専務外	うきは市
18日	人権啓発研修会	専 務	春日市
25日	県木連・県木協連合同組合長会議	会長外	福岡市
26日	JAS格付け検査（東部産業）	職 員	うきは市
29日	福岡県ゆとりある住まいづくり協議会	専 務	福岡市
31日	農林水産まつり専門部会	専 務	福岡県庁
8月1日	木材フォーラム	専務外	天神チクモクビル
8日 ～9日	九州木材業振興協議会	専 務	福岡市
9日	福岡県中小企業団体中央会理事会	—	福岡市

期 日	会議・行事等	出席者	
8月19日	福岡県森林審議会	会 長	
21日	農林水産まつり企画運営部会	専 務	福岡県庁
22日	JAS格付け検査（堤木材）	職 員	うきは市
26日 ～27日	JAS審査員・検査員九州ブロック 研修会	専務外	筑紫野市、筑後市
28日	福岡木材フォーラム	会長外	天神チクモクビル
29日	JAS格付け検査（東部産業）	専務外	うきは市
9月 4日	ウッドフェスタ打合せ	職 員	久留米市
16日	木造建築物構造見学会	専 務	北九州市
21日	木工工作コンクール審査会	—	北九州市
26日	JAS監査（ニッパ）	職 員	飯塚市
30日	県木連・県木協連合同組合長会議	会長外	福岡市
30日	木材活用セミナー	会長外	福岡市
10月 4日	緑の雇用地方会議	専務外	天神チクモクビル
7日	JAS監査（堤木材）	専務外	うきは市
10日	JAS監査（九州木材工業）	職 員	筑後市
12日	ウッドフェスタ	会長外	久留米市
18日	県木青 県産木材生産現場見学ツアー	職 員	八女市、うきは市
24日	クリーンウッド法研修会	会長外	天神チクモクビル
25日	伐木技能選手権	専 務	糸島市
29日	林活議連九州大会	会長外	長崎市
11月 6日	全国木材産業振興大会	会長外	高知市
6日	人権啓発研修会	職 員	福岡県庁
8日 ～9日	ナイス展示会	専務外	志免町
15日	福岡県森林審議会	会 長	福岡市
16日 ～17日	農林水産まつり	会長外	福岡市
20日	福岡県木造・木質化建築賞選定委員会	専 務	福岡市
25日	JAS認証現地調査	専務外	八女市
27日	外構部木質化支援事業現地確認	専務外	筑前町
12月 3日	県産材利用促進協議会	専 務	うきは市
4日	福岡県中小企業団体中央会理事会	会 長	福岡市
13日	JAS格付け検査（堤木材）	専務外	うきは市
16日	九経連林業部会	専 務	福岡市
17日	県木連・県木協連合同組合長会議	会長外	天神チクモクビル 筑後市、広川町
20日	JAS構造材個別実証支援事業 現地確認	専 務	中間市

期 日	会議・行事等	出席者	場 所
1 2 月 2 3 日	福岡県木造・木質化建築賞現地審査	専 務	県内各地
2 6 日	〃	〃	〃
1 月 8 日	J A S 構造材個別実証支援事業 現地確認	専務外	筑紫野市
1 8 日 ～ 1 9 日	九州木質建物構造展	専務外	福岡市
2 4 日	福岡市公共建築物等の木材利用における協議	専 務	福岡市
2 5 日	C L T 住宅見学会	専務外	福岡市
2 8 日	林業雇用改善推進会議	専 務	福岡労働局
2 8 日	J A S 認証制度指導	職 員	うきは市
2 9 日 ～ 3 0 日	九州木材組合連合会事務局長会議	専 務	長崎市
2 月 4 日	合板検査会現地視察	会長外	うきは市
1 4 日	県市連全体会議	専 務	福岡市
1 8 日	ウッドフェスタ打合せ	専 務	福岡市
1 8 日	J A S 構造材個別実証支援事業 現地確認	専務外	大川市
2 0 日	全木連調査（J A S 構造材利用拡大事業）	専務外	天神チクモクビル
2 5 日	福岡市公共建築物等の木材利用における協議	専 務	福岡市
2 8 日	早生樹シンポジウム	会長外	福岡市
3 月 2 日	全木連会議（J A S 構造材利用拡大事業）	職 員	東京都
5 日	梱包材実地調査（日通商事）	職 員	福岡市
1 0 日	J A S 監査（杉岡製材所）	専務外	朝倉市
1 0 日	J A S 監査（マルジョウ）	〃	うきは市
1 1 日	梱包材実地調査（三井倉庫）	職 員	北九州市
2 4 日	県木連・県木協連合同組合長会議	会長外	天神チクモクビル
2 8 日	センダン植樹祭	専 務	みやこ町
	(以下新型コロナウイルス対策で中止 又は書面開催)		
3 月 2 日	九経連林業部会		福岡市
4 日	福岡県中小企業団体中央会理事会		福岡市
5 日	福岡県中小企業団体事務局研修会		福岡市
1 6 日	九経連木造ビル構造標準モデル発表会		福岡市
3 0 日	全木連理事会		東京都木材会館
3 1 日	全木連事務局長会議		〃

財 産 目 録

令和2年3月31日 現在

(単位：円)

科目	場所等	使用目的等	金額
(資産の部)			
現金	手元保管	運転資金として	190,230
預金	普通預金 福岡銀行博多支店	運転資金として	3,385,600
未収金		委託料他	1,517,700
資産合計			5,093,530
(負債の部)			
未払金		ホームページ更新料他	440,000
負債合計			440,000
正味財産			4,653,530

貸 借 対 照 表

令和2年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	190,230	17,151	173,079
普通預金	3,385,600	5,157,039	△ 1,771,439
未収金	1,517,700	500,900	1,016,800
仮払税金	0	0	0
流動資産合計	5,093,530	5,675,090	△ 581,560
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	5,093,530	5,675,090	△ 581,560
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	440,000	1,024,560	△ 584,560
預り金	0	0	0
流動負債合計	440,000	1,024,560	△ 584,560
2. 固定負債			
長期借入金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	440,000	1,024,560	△ 584,560
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
一般正味財産	4,653,530	4,650,530	3,000
正味財産合計	4,653,530	4,650,530	3,000
負債及び正味財産合計	5,093,530	5,675,090	△ 581,560

収 支 決 算 書 総 括 表

平成31年4月1日
令和2年3月31日

から
まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差引増△減額
I 収入の部			
(1) 会費収入	8,975,000	8,965,900	△ 9,100
(2) 補助金等収入	11,006,000	9,444,537	△ 1,561,463
(3) 雑収入	367,000	312,515	△ 54,485
当期収入合計 (A)	20,348,000	18,722,952	△ 1,625,048
II 支出の部			
(1) 事業支出	7,190,000	6,323,555	△ 866,445
(2) 管理費等支出	13,167,000	12,249,197	△ 917,803
III 法人税等支出	148,000	147,200	△ 800
IV 予備費支出	5,000	0	△ 5,000
当期支出合計 (B)	20,510,000	18,719,952	△ 1,790,048
当期収支差額 (A－B)	△ 162,000	3,000	165,000
前期繰越収支差額 (C)	4,100,416	4,650,530	550,114
次期繰越収支差額 (A－B＋C)	3,938,416	4,653,530	715,114

* 令和元年度収支差額処理案

1. 当期収支差額	3,000 円
2. 前期繰越収支差額	4,650,530 円
(合 計)	4,653,530 円
3. 次期繰越収支差額	4,653,530 円

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	4,892,900	4,967,900	△ 75,000
木材登録会費	1,104,000	1,112,800	△ 8,800
県産材認定手数料	4,000	4,000	0
県産材年間維持費収入	750,000	770,000	△ 20,000
合法木材認定手数料	35,000	28,000	7,000
合法木材年間維持費収入	2,180,000	2,220,000	△ 40,000
補助金等収入	9,444,537	7,769,600	1,674,937
雑収入	312,515	125,048	187,467
経常収益計	18,722,952	16,997,348	1,725,604
(2) 経常費用			
事業費	(6,323,555)	(5,511,644)	496,157
JAS構造材利用拡大事業	5,378,094	5,062,340	315,754
教育情報事業費	94,305	73,800	20,505
ふれあい推進事業費	0	150,000	△ 150,000
木材利用相談事業費	212,168	225,504	△ 13,336
合法木材事業費	226,382	0	226,382
まつり運営費	412,606	0	412,606
管理費	(12,249,197)	(11,126,172)	1,123,025
役員報酬	3,000,000	3,000,000	0
職員給与	2,606,300	2,508,000	98,300
福利厚生費	1,209,386	784,660	424,726
通勤手当	671,220	493,920	177,300
事務所費	1,768,175	1,615,053	153,122
需用費	635,594	603,947	31,647
旅費交通費	341,494	432,708	△ 91,214
交際費	54,070	60,272	△ 6,202
広告宣伝費	22,000	21,600	400
会議費	389,237	281,223	108,014
関係団体負担金	1,315,000	1,066,000	249,000
雑費	236,721	258,789	△ 22,068
経常費用計	18,572,752	16,637,816	1,934,936
当期経常増減額	150,200	359,532	△ 209,332
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
法人税等支出	147,200	175,500	△ 28,300
経常外費用計	147,200	175,500	△ 28,300
当期経常外増減額	△ 147,200	△ 175,500	28,300
当期一般正味財産増減額	3,000	184,032	△ 181,032
一般正味財産期首残高	4,650,530	4,466,498	184,032
一般正味財産期末残高	4,653,530	4,650,530	3,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	4,653,530	4,650,530	3,000

一般社団法人福岡県木材組合連合会
令和元年度収支決算内訳表

令和2年3月31日

令和2年3月31日

科目	実施事業等会計	その他会計		法人会計	内部取引 控除額	合計
	継1	他1				
1. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
・会費収入			0	4,892,900		4,892,900
正会員会費			0	4,892,900		4,892,900
特別会員会費			0			0
・登録収入			0	1,104,000		1,104,000
・事業受取収入			2,969,000	0		2,969,000
県産材認定手数料			4,000	0		4,000
県産木材年間維持費収入			750,000	0		750,000
合法木材認定手数料			35,000	0		35,000
合法木材年間維持費収入			2,180,000	0		2,180,000
・補助金等収入	1,550,000		7,894,537	0		9,444,537
木材産業振興対策事業費	1,550,000		0	0		1,550,000
JAS構造成材利用拡大事業費	0		6,016,067	0		6,016,067
JAS実証支援事業費	0		280,000	0		280,000
JAS事業費(監査等)	0		600,000	0		600,000
農林水産祭運営費	0		352,600	0		352,600
	0		645,870	0		645,870
	0		0	0		0
	0		0	0		0
・雑収入	0		0	312,515	0	312,515
経常収益計	1,550,000		10,863,537	6,309,415	0	18,722,952

科目	実施事業等会計		その他会計		法人会計	内部取引 控除額	合計
	継1	他1					
(2)経常費用							
[事業費]							
役員報酬費	3,200,000	10,358,700					13,558,700
職員給与費	1,138,500	961,500					2,100,000
福利厚生費	792,000	1,182,000					1,974,000
通勤手当	316,800	621,200					938,000
退職金手当	178,200	297,800					476,000
事務所費	0	0					0
需用費	428,160	614,840					1,043,000
旅費交通費	71,750	476,250					548,000
交際費	186,090	129,910					316,000
広告宣伝費	0	0					0
会議費	0	22,000					22,000
負担金	0	100,000					100,000
謝金等	0	0					0
通信運搬費	88,500	162,500					251,000
補助金	0	0					0
租税公課	0	0					0
法人税等引当金	0	0					0
予備費	0	0					0
雑費							0
農林水産祭運営費	0	412,606					412,606
JAS構造物利用拡大事業費		5,378,094					5,378,094
教育情報事業費							0

科目	実施事業等会計		その他会計		法人会計	内部取引 控除額	合計
	継1	他1					
[管理費]					5,161,252		5,161,252
役員報酬費					900,000		900,000
職員給与費					632,300		632,300
福利厚生費					271,386		271,386
通勤手当					195,220		195,220
退職金手当					0		0
事務所費					534,436		534,436
需用費					359,473		359,473
旅費交通費					25,494		25,494
交際費					54,070		54,070
広告宣伝費					0		0
会議費					289,237		289,237
負担金					1,315,000		1,315,000
謝金等					0		0
通信運搬費					200,715		200,715
補助金					0		0
租税公課					0		0
法人税等引当金					147,200		147,200
予備費					0		0
雑費					236,721		236,721
経常費計	3,200,000	10,358,700			5,161,252		18,719,952
評価損益当期増減額							
評価損益等小計							
(1)経常外収入							0
(2)経常外費用							0
当期経常外増減額							0
その他会計振替額							0
当期一般正味財産増減額	△ 1,650,000	504,837			1,148,163		3,000

上記のとおり報告します。

令和2年5月1日

(一社) 福岡県木材組合連合会

会 長 平川 辰男



上記につき監査したところ正確であることを認めます。

令和2年5月1日

監 事 鈴木 就生



監 事 多田 啓



第2号議案

令和2年度 事業計画（案）

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

我が国の経済は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続いておりました。

しかしながら、平成30年12月のTPP11、平成31年2月の日EU経済連携協定の発効など、新たな国際貿易の枠組みが着実に進行する一方、米国の保護主義的な政策の表面化、中国の経済成長の鈍化など海外経済を中心とした不確実性、国内では昨年10月に行われた消費税の見直しによる個人消費の停滞、慢性的な労働不足など、必ずしも楽観的な状況にあるとはいえない状況でありました。

これに加えて、新型コロナウイルス感染が世界中に瞬く間に拡大し、この影響で経済活動が著しく低下し、世界大恐慌以来の不況に陥ることが懸念されています。

我が国においても、全国一円に緊急事態宣言が出され、様々な業種に休業要請がなされています。これにより、木材業界にとっても、住宅需要の落ち込みなど大きな影響を受けることが危惧されています。

このような状況下ではありますが、平成28年5月に閣議決定された「森林・林業基本計画」では、平成37年の総需要量を79百万m³、国産材の利用量を40百万m³とされ、国産材時代の到来を目指しています。

また、「成長戦略2019」が令和元年6月に閣議決定されました。成長戦略フォローアップの中においては、林業改革として、I

C Tを活用し、生産管理の取組や、需給等のデータを共有するサプライチェーン構築の加速化を図るなどの「スマート林業の推進」、オフィスなどの非住宅建築物建築物への木材利用拡大に経済界の協力も取り入れつつ、都市部を中心に取り組むなどの「木材利用の推進」が位置づけられました。

住宅部門においては、地域材の活用に対する助成措置の定着などにより、「木造」への関心が広がりを見せてはいるものの、今後少子化等により新設住宅着工ののびが期待しがたいと見込まれる情勢の中、リフォームでの木材利用拡大、公共建築物、商工業施設、外構等多様な分野で木材利用を進めていくことが必要となります。

また、建築物や家具に使用される木材については、品質性能の確かなJ A S製品をはじめ、産地の証明された木材や多様な樹種への関心が高まっていき、このような状況に柔軟に対応できる供給体制の構築が求められています。

さらに、格付け実績の低いJ A S構造材の利用や新たな製品・技術の開発を支援する観点から、今年度も引き続きJ A S製品の普及拡大対策が令和2年度も継続されることになりました。

こうした背景から、木材業界も依然厳しい事業環境にあるものの、多様な分野での木材の需要拡大の取り組みや木材の安定供給体制の構築に一層取り組んでいくことが緊急の課題となっています。

当連合会といたしましても、新型コロナウイルス感染拡大により業界に及ぼす影響が非常に心配される状況ではありますが、これまで以上に効率的な事業の実施に心掛け、会員の皆様との連携を強化し、国や県の諸施策や補助事業等の効果的な活用に努めながら、次の事項に重点的に取り組むこととします。

- (1) 消費者等に対する木材利用の普及推進
- (2) 「木づかい運動」への参画
- (3) 木材の安定供給と利用促進
- (4) J A S 構造材利用拡大事業及び外構部の木質化の支援事業の実施
- (5) J A S 制度の普及推進及び適正な運用
- (6) 合法木材及び発電利用に供する木質バイオマスの普及推進
- (7) 労働安全衛生対策の推進
- (8) 教育・情報提供事業
- (9) 提案及び要望活動等

令和2年度収支予算書(案)

令和2年4月 1日から
令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	備 考
I 収入の部			
(1) 会費収入	8,716,000	8,975,000	
受取会費	4,803,000	4,893,000	正会員、賛助会員
木材登録会費	1,048,000	1,116,000	
県産材認定手数料	8,000	8,000	
県産材年間維持費収入	750,000	770,000	
合法木材認定手数料	7,000	28,000	
合法木材年間維持費収入	2,100,000	2,160,000	
(2) 補助金等収入	7,930,000	11,006,000	
木材産業振興対策事業補助	1,550,000	1,550,000	連合会運営及び後継者対策
JAS構造材実証支援事業	480,000	500,000	
JAS構造材利用拡大事業	5,000,000	6,000,000	
外構部木質化対策支援事業	200,000	2,000,000	
農林水産祭運営費	0	356,000	
JAS監査等事業費	700,000	600,000	
(3) 雑収入	50,000	367,000	利子等
当期収入合計(A)	16,696,000	20,348,000	
II 支出の部			
(1) 事業費支出(B)	4,424,000	7,190,000	
JAS構造材実証支援事業	50,000	300,000	
JAS構造材利用拡大事業	4,000,000	4,400,000	
外構部木質化対策支援事業	50,000	1,500,000	
教育情報事業費	94,000	80,000	
ふれあい推進事業費	0	0	
木材利用相談事業費	230,000	230,000	
合法木材事業費	0	80,000	
農林水産祭運営費	0	600,000	
(2) 管理費等支出(C)	12,724,000	13,167,000	
役員報酬	3,000,000	3,000,000	
職員給与	3,400,000	3,880,000	
福利厚生費	1,025,000	1,100,000	
通勤手当	574,000	532,000	
事務所費	1,852,000	1,852,000	
需用費	400,000	501,000	
旅費交通費	400,000	500,000	
交際費	50,000	50,000	
広告宣伝費	82,000	22,000	
会議費	330,000	330,000	
関係団体負担金	1,371,000	1,100,000	
雑費	240,000	300,000	
III 法人税等引当金(D)	148,000	148,000	
IV 予備費(E)	5,000	5,000	
当期支出合計(B+C+D+E)=(F)	17,301,000	20,510,000	
当期収支差額(A-F)	△ 605,000	△ 162,000	

一般社団法人福岡県木材組合連合会
令和2年度収支計画表

令和2年4月1日

令和2年4月11日

科目	実施事業等会計		その他会計		法人会計	内部取引 控除額	合計
	継1	他1					
1. 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
・会費収入							
正会員会費			0		4,803,000		4,803,000
特別会員会費			0		4,803,000		4,803,000
			0				0
・登録収入			0		1,048,000		1,048,000
・事業受取収入							
県産材認定手数料			2,865,000		0		2,865,000
県産木材年間維持費収入			8,000		0		8,000
合法木材認定手数料			750,000		0		750,000
合法木材年間維持費収入			7,000		0		7,000
・補助金等収入			2,100,000		0		2,100,000
木材産業振興対策事業費	1,550,000		6,380,000		0		7,930,000
JAS構造材実証支援事業	1,550,000		0		0		1,550,000
JAS構造材利用拡大事業	0		480,000		0		480,000
外構部木質化対策支援事業	0		5,000,000		0		5,000,000
農林水産祭運営費	0		200,000		0		200,000
JAS監査等事業費	0		0		0		0
	0		700,000		0		700,000
	0		0		0		0
・雑収入	0		0		50,000		50,000
経常収益計	1,550,000		9,245,000		5,901,000	0	16,696,000

科目	実施事業等会計		その他会計	法人会計	内部取引 控除額	合計
	継1	他1				
(2)経常費用						
[事業費]						
役員報酬費	3,100,000	8,211,500				11,311,500
職員給与費	900,000	1,000,000				1,900,000
福利厚生費	940,500	1,300,000				2,240,500
通勤手当	298,000	460,000				758,000
退職金手当	170,000	320,000				490,000
事務所費	0	0				0
需用費	330,000	500,000				830,000
旅費交通費	102,000	153,000				255,000
交際費	268,500	58,500				327,000
広告宣伝費	0	0				0
会議費	0	70,000				70,000
負担金	0	150,000				150,000
謝金等	0	0				0
通信運搬費	0	0				0
補助金	91,000	100,000				191,000
租税公課	0	0				0
法人税等引当金	0	0				0
予備費	0	0				0
雑費						0
JAS構造化実証支援事業	0	50,000				50,000
JAS構造化利用拡大事業		4,000,000				4,000,000
外構部木質化対策支援事業		50,000				50,000
農林水産祭運営費		0				0

科目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取引 控除額	合計
	継1	他1			
[管理費]					
役員報酬費			5,989,500		5,989,500
職員給与費			1,100,000		1,100,000
福利厚生費			1,159,500		1,159,500
通勤手当			267,000		267,000
退職金			84,000		84,000
手当			0		0
事務所費			1,022,000		1,022,000
需用費			239,000		239,000
旅費交通費			73,000		73,000
交際費			50,000		50,000
広告宣伝費			12,000		12,000
会議費			180,000		180,000
負担金			1,371,000		1,371,000
謝金等			0		0
通信運搬費			39,000		39,000
補助金			0		0
租税公課			0		0
法人税等引当金			148,000		148,000
予備費			5,000		5,000
雑費			240,000		240,000
経常費計	3,100,000	8,211,500	5,989,500		17,301,000
評価損益当期増減額					
評価損益等小計					
(1) 経常外収入					0
(2) 経常外費用					0
当期経常外増減額					0
その他会計振替額					0
当期一般正味財産増減額	△ 1,550,000	1,033,500	△ 88,500		-605,000

第3号議案 令和2年度会費の賦課ならびに徴収方法の決定について

令和2年度の会費の賦課ならびに徴収方法は次のとおりとする。

(1) 組合別会費

組 合 名	会 費		備 考
	員 数	金 額(円)	
北九州	35	525,000	
筑豊地区	41	615,000	
福岡市	46	690,000	
朝倉東	5	75,000	
朝倉	9	135,000	
浮羽	19	285,000	
八女	36(2)	549,400	
大川	50	750,000	
大牟田	8(4)	138,800	
豊前築上	4	60,000	
築上西部	2	30,000	
宗像	6(1)	94,700	
柳川	8	120,000	
久留米	14	210,000	
粕屋	13	195,000	
那珂川	2	30,000	
筑紫	1	15,000	
星野	8	120,000	
県市連	9	135,000	
木青壮	2	30,000	
合計	318(7)	4,802,900	

() は準組合員

(2) 会費の徴収方法

会費の納期は、前期6月30日、後期10月31日迄の2回とする。

※ 正組合員1人当たり15,000円

準組合員1人当たり4,700円

第 4 号 議 案 役員報酬について

常勤役員の報酬額は 3, 0 0 0 千円以内とする。

第 5 号 議 案 役員補選について